



原子力産業新聞

2014年1月16日
平成26年(第2702号)
毎週木曜日発行
購読料1年前分金(消費税、国内送料込)
会 員 9,500円(1部220円)
非会 員 15,000円(1部350円)
(当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895
電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ http://www.jaif.or.jp/ メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

国民に「いいないな説明を

原子力委員会 エネ基本計画に意見

原子力委員会は九日、近く閣議決定が見込まれる「エネルギー基本計画」に対する意見について

の見解を示した。今後二十年間程度で原子力発電への依存度をできる限り低減させていくという方針の下で原子力発電を重要なベース電源に位置づけるとの判断に至ったことに対し、熟慮の内容を国民に丁寧に説明するべきであるとした。

電力システム改革により原子力発電を巡る経営環境が変化することについては、従来の原子力発電の運営体制の維持するべきところ、変更するべきところを明らかにし、見直すべきとした。

また、原子力関連施設の立地地域の自治体や住民と政府および電気事業者との対話にあたっては特に「透明性、公正性」を踏まえた仕組みによるべきとした。

原子力委員会は毎年「年頭の所信」を発表しているが、二〇一四年は

同委員会が新組織へと移行することを見据えて見送ったため、今回の見解に委員の思いをこめたとしている。

退任する河邊氏は、原子力損害賠償支援機構の運営委員長を務めた後、一二年六月から東京電力の社外取締役(弁護士・会長として、事故後の「新生東電」立ち上げに手腕を発揮した。

テキサスA&M大学および隣接実証サイトであるディサスターシティ(DTX)へも訪れ、関係者と意見交換を行う。赤羽副大臣は十二月三十日、私的研究会「福島国際研究産業都市構想(イノベーション・コースト)研究会」を二月中旬に立ち上げ、地域経済の将来像や必要な支援などについて、六月前後を目途として提言をとりまとめると発表した。

「再出発の大事な年に」

原産会長 新年会員交流会で挨拶

原産協会の新年会員交流会が八日、都内のホテルで開催され、産業界、国会議員、行政関係、自治体などから、約千名が参

集し、新しい年の幕開けを祝い親睦を深め合った。今井敬会長(川写真中央)は、年頭挨拶で、国内原子力発電所全基が停止となった昨年を振り返り、「今年は原子力がゼロから再出発する大事な年」と述べ、協会の活動への支援・理解を呼びかけた。

今井会長は、昨年のエネルギーを巡る動きに関して、原子力発電の全基停止に伴う国富流出などを憂慮し、「経済的にエネルギーの再構築が最も重要」として、政府によるエネルギー基本計画の早期閣議決定、原子力をベース電源に位置付けること、重要性を改めて強調した。

また来賓として訪れた赤羽一嘉経済産業副大臣は、挨拶の中で、原子力事故発生から三年近くが経過した今なお、多くの住民が避難生活を送っている現状を重く受け止めて、「復興の大前提である福島第一原子力発電所の事故収束に全力を挙げていく」と述べ、特に、汚染水問題については、最も緊急性の高い課題として、国が前面に出て必要な対策を実行していくと力訴えかけるなどした。

安倍首相は十月にトルコを訪れた際、シノップ

ジェップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

この重要性を改めて強調した。

また来賓として訪れた赤羽一嘉経済産業副大臣は、挨拶の中で、原子力事故発生から三年近くが経過した今なお、多くの住民が避難生活を送っている現状を重く受け止めて、「復興の大前提である福島第一原子力発電所の事故収束に全力を挙げていく」と述べ、特に、汚染水問題については、最も緊急性の高い課題として、国が前面に出て必要な対策を実行していくと力訴えかけるなどした。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

ジェップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

この重要性を改めて強調した。

また来賓として訪れた赤羽一嘉経済産業副大臣は、挨拶の中で、原子力事故発生から三年近くが経過した今なお、多くの住民が避難生活を送っている現状を重く受け止めて、「復興の大前提である福島第一原子力発電所の事故収束に全力を挙げていく」と述べ、特に、汚染水問題については、最も緊急性の高い課題として、国が前面に出て必要な対策を実行していくと力訴えかけるなどした。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

ジェップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

ジェップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

新会長に数士氏

4月から 東京電力が役員人事

東京電力は七日、三月末日、現在の河邊和彦会長が退任し、後任に数士文夫取締役(すじ)が就任する役員人事を発表した。

退任する河邊氏は、原子力損害賠償支援機構の運営委員長を務めた後、一二年六月から東京電力の社外取締役(弁護士・会長として、事故後の「新生東電」立ち上げに手腕を発揮した。

テキサスA&M大学および隣接実証サイトであるディサスターシティ(DTX)へも訪れ、関係者と意見交換を行う。赤羽副大臣は十二月三十日、私的研究会「福島国際研究産業都市構想(イノベーション・コースト)研究会」を二月中旬に立ち上げ、地域経済の将来像や必要な支援などについて、六月前後を目途として提言をとりまとめると発表した。

協定の早期締結確認

日本・トルコ両首脳が会談で

安倍首相は七日、シノップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

ジェップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

原子力は国全体の課題と指摘

都知事選で菅長官

今月二十三日告示、来月九日投票が行われる東京都知事選挙に元首相の細川護国氏が立候補を表明し、争点を脱原発を掲げるとしたことに、菅義偉官房長官は同日の記者会見で「原発政策は設置自治体を含めて国家全体として取り組むべき問題で、東京都だけで決

める政策課題ではない」と指摘した。同日には舛添要一元厚生労働相も東京都庁で記者会見して正式に立候補を表明するなどしている。二〇二〇年五輪開催等が中心的な論点とみられていたが、細川氏の立候補でエネルギー問題が主要な論点に浮上することになった。

米ハンフォードなど視察

赤羽一嘉経済産業副大臣は、原子力災害現地対策本部本部長は十二日から十九日、渡米しハンフォード・サイトなどを視察する。廃炉とともに周辺地域振興にも一定の成果を上げていく同地域の例に学

日仏外相が戦略対話をパリで

原子力協力も確認

この重要性を改めて強調した。

また来賓として訪れた赤羽一嘉経済産業副大臣は、挨拶の中で、原子力事故発生から三年近くが経過した今なお、多くの住民が避難生活を送っている現状を重く受け止めて、「復興の大前提である福島第一原子力発電所の事故収束に全力を挙げていく」と述べ、特に、汚染水問題については、最も緊急性の高い課題として、国が前面に出て必要な対策を実行していくと力訴えかけるなどした。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

ジェップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

また、両国間の貿易・投資の拡大や、防災・医療・保健、科学技術、文化・教育の各分野での協力推進を確認したほか、日本側より、ボスボラス海峽横断地下鉄建設、揚水発電技術に関する円借款について紹介されるなどした。

安倍首相が十月にトルコを訪れた際、シノップ

ジェップ・タイプ・エルドアン首相と会談した。会談後、両国間の科学技術大学設立に関する協力覚書の署名が行われたほか、原子力協定の早期締結に向け取り組んでいくことを確認した。

今回の会談で、安倍首相は、中東地域を含む国際社会の平和と安定への貢献から、安全保障戦略面での対話を深めていく考えを述べ、エルドアン首相も、これに応じた。

この一週間の出来事

(9日(木)~15日(水))

- 規制委、新基準適合性で大飯現地調査(9日)
- 苫東厚真4号(石炭火力、70万kW)復旧(13日)
- 経団連次期会長に東レ榊原会長が内定(14日)

原産新聞の紙面から

◇国内ニュース

- 泉田新潟県知事と田中伸男氏が討論(2面)
- 役割高まるFNCA—大臣級会合の様相(2面)
- 原子力産業セミナーが開催(4面)
- 技術士会が放射線リスクでフォーラム(4面)

◇海外ニュース

- 東芝が英国の原子力事業者株6割取得へ(3面)
- インドで国産原子炉の新規サイト起工式(3面)
- 米規制委が使用済み燃料の貯蔵で評価(3面)

私たちはエコな暮らしと
エコな社会をつくっていきます。

商品で、技術で、モノづくりで。
エコな暮らしのスタイルと、エコな社会のスタイルを
創造していく。それが東芝のecoスタイルです。

eco スタイル

この星のエネルギーとエコロジーのために。東芝

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

